

市議会議員 あいざき佐和子 活動ニュース v o 1.86 ITAMI大好き! 2017年11月

このチラシは、伊丹市議会議員「相崎佐和子」が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はカラーA3・その他はA4）しており、ポスティング・駅などでの配布・郵送などでお届けしています。



相崎 佐和子

小学生が民生委員！～会派視察～

11月9～10日、相崎が所属する会派「フォーラム伊丹」で九州方面へ視察に行きました。そのご報告です。

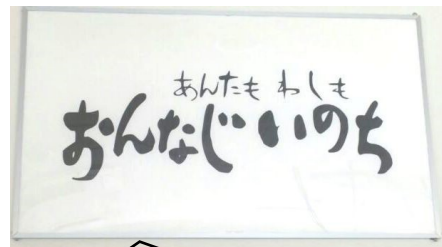
■生活困窮者のサポートを！ ～福岡市 抱樸館～

「抱樸館（ほうぼくかん）福岡」は、（社福）グリーンコープが運営する“生活困窮者のための自立支援施設”です。定員81名で原則6ヶ月入居。入居者は共同生活をしながら、就労訓練や自立支援プログラムを通して自立した生活を目指します。

入居パターンは、ご本人の申し出はじめ、ご家族・病院・支援団体・行政などからの紹介だそう。不安定居住者（ネットカフェ難民など）や発達障がいの方も少なくないとのこと。運営経費は、基本的に利用料（生活保護費から）と市からの委託金（福岡市の自立支援事業を受託している）。他に寄付なども多く、食費は当初1200万円/年だったのが、寄付等により現在は300万円だそうです。

伊丹市の規模で抱樸館のような生活困窮者の自立支援施設を持つのは容易ではないかもしれません。しかし支援の理念には共感するところであり、伊丹市でまた県や国で実施可能な支援を検討する必要性を感じました。

壁に理念が掲げられていました。「あんたもわしも おんなじいのち」。胸に刻んで取り組みます。



掲げられていた理念に感動

■ユネスコスクールで能動的な活動を！ ～福岡県大牟田市～

大牟田市はかつて三池炭鉱があった街。関連資産がユネスコ世界遺産に登録されていることから「ユネスコスクール推進事業」に取り組んでいます。ユネスコスクールとは、ユネスコの理念実現を目指し、世界の環境・人権・平和などの諸課題を自分の問題として捉え、自分なりに考えて行動するための学びを展開する学校です。大牟田市は全ての小中学校&特別支援学校がユネスコスクールに加盟しており、各校で様々な活動を展開中とのこと。

実践例：桜プロジェクト（桜をテーマに活動。地域・気仙沼や海外の学校と交流）

実践例：子ども民生委員活動（小5が民生委員に。独居高齢者を民生委員と一緒に訪問）

実践例：商店街「十日市」プロジェクト（校区内の商店街でイベントに企画参加）

実践例：世界遺産の魅力発信（中学校で写真展・パンフレット作成など）

実践例：子どもボランティアガイド（小学生がボランティアで観光ガイド）

→裏面へ

大牟田市のマスコットキャラクター「ジャー坊」と



ユネスコスクールに登録したことで、取り組みを学校だけでなく地域など連携できるようになったとのこと。課題解決に向けて児童生徒が能動的に活動する取り組みの数々、見事でした。伊丹市でも見習いたいものです。

平成9年に炭鉱が閉山した際の、当時の教育長の言葉が印象的でした。

「炭鉱の火は消えたが、教育の火はこれからも明々と燃え続ける」

議会のロードマップ作成！ ～大津市議会～

11月14日（火）、滋賀県の**大津市議会へ議会改革特別委員会**で視察に行きました。大津市議会は、manifestoの甲子園といわれる「全国manifesto大賞」を5年連続受賞（違うテーマで）している改革先進議会です。

●議会ミッションロードマップ（議会の実行計画）

大津市議会では、議会の実行計画である「議会ミッションロードマップ」を作成しています。①議会基本条例の具現化 ②議会活動に対する市民への説明責任 ③市議会の可視化を目的に、政策立案と議会改革を2本柱に、4年間（議員任期）の議会の取り組み事項をまとめたそうです。全議員一致で計画を立てたこと自体に感心しました。

●議会図書室

3年前まで倉庫状態だった議会図書室を、政策立案と政策提言力の向上を目的に充実したそう。具体的には、龍谷大学・市立図書館と連携してレファレンスの幅を広げ、古い資料などのデータベース化を進めているとのこと。伊丹市議会も議会図書室がありますが、資料保管場所の状態。インターネットが普及している現在、大津を参考にしながら、これからの議会図書室の在り方を考えていきたいものです。

●AR（拡張現実）

AR (Augmented Reality) は「拡張現実」と訳され、コンピューターを利用して現実の風景に情報を重ね合わせて表示する技術です。大津市議会ではAR技術を取り入れ、広報誌の議会写真にスマートフォンをかざすと議会の動画が見られるサービスをはじめたそう。経費は3コンテンツで10,500円、年間で126,000円。メディアで取り上げられることで、議会が注目される効果があるとのことでした。まだアクセス数は少ないそうですが、新しい試みをドンドン取り入れる姿勢が、大津市議会で議会改革が進む一因なのだろうと感じました。

私が議会改革の先進市で知りたいのは、改革の内容もさることながら、改革が進む背景です。各議員（会派）で議会改革に対して温度差がある中、どうやって議会内の合意を経て改革が進むのか？ 議会改革の視察に行くと必ずそれを聞きます（これは直接聞くのが一番）。

聞くと各議会様々で、リーダー的な議員がいた、不祥事などにより改革せざるを得なかった、ベテラン議員が改革に熱心だった・・・**大津市議会の場合、議会事務局が積極的であり、それを受け入れる度量が議会にあった**とのことでした。伊丹市議会では、どれだけ議員（会派）が歩み寄れるかがカギかと。ともかく様々なケースを踏まえながら、伊丹市議会を“市民に開かれた議会” “より議論を尽くす議会” にするため尽力します。



大津市議会の名物事務局次長さん

～情報はここから～

- ホームページ <http://sawako-aizaki.com>
- ブログ <http://yaplog.jp/sawako-aizaki/> 毎日更新中！
- Facebook <https://ja-jp.facebook.com/sawako.aizaki>
- ツイッター
- インスタグラム

相崎佐和子

検索



相崎佐和子 プロフィール

- 1973年3月生 ●親和女子高校 ●奈良教育大学 ● 〃 大学院(政治学)
- フリーアナウンサー ●地元ケーブルテレビ(現:ベイコム)アナウンサー
- 第12代兵庫県広報専門員 ●伊丹市議会議員(現在3期目)
- 第61代 伊丹市議会議長 ○家族: 夫・長女(小6)・次女(小2)

「フォーラム伊丹通信」発行中！

相崎が所属する会派「フォーラム伊丹」では、毎月「フォーラム伊丹通信」を発行しています。メンバーと共に駅などで配布していますが、郵送も受け付けています。ご希望の方は下記までご連絡ください。

- 発行元 : 相崎佐和子
- 連絡先 : 〒664-8503 伊丹市千僧1-1
伊丹市議会内
- 電話 : (090) 8528-3870
- メール : sawako-aizaki@hcc6.bai.ne.jp